

# 共に歩む市民の会

たまり場広報委員会

## 会 報

第 11 号

241-0002

横浜市旭区鶴ヶ峰 2-2-4

045-953-6727

2004年3月31日発行

### たまり場への想い～ニューたまり場一周年を迎えて～

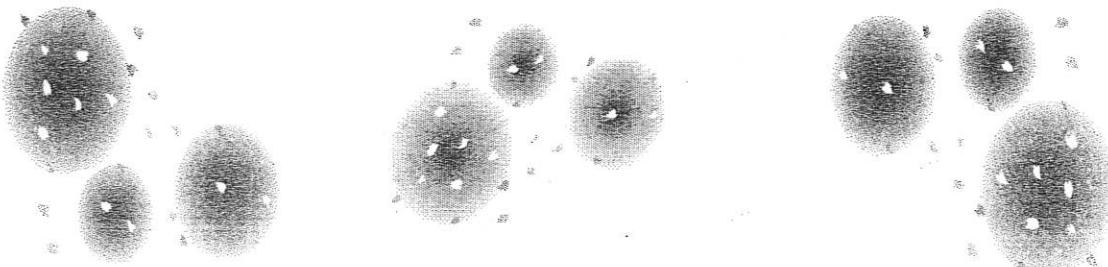
旭びあくらぶ 松元

1997年12月、くつろげるスペース、暖かいみんなの家「たまり場」が誕生。その後、現在の鶴ヶ峰に移転して一年が経ちました。当所の利用者は様々な立場の方々です。旭区内の地域作業所、生活教室に通う人やデイケアを利用する人が主流で、毎週金曜日の夕食会は大好評で大勢の申し込みがあります。料理や語らい電話担当のボランティアさんも毎週定期的に来所されています。現在、たまり場（共に歩む市民の会）では、立場を乗り越え対等に仲間同士が支えあおうといった考えのもとに、ピアサポートという新しい事業を軌道に乗せております。

自己紹介が遅れてしまいましたが、私はたまり場誕生以来、自分でもできることをと考え、カギ当番という役目を細々続けているボランティアの松元です。参加させていただき、「お互い本当に支えられているなあ、学ばさせてもらっているなあ、元気の水をもらっているなあ」と感じております。

最近こんなことがありました。たまたま訪れた利用者が将棋の指導のベテランと噂で聞いていたので、将棋はさておき、「オセロを教えて」と思い切って頼みました。「3ヶ所に置ける場合でも、ここに置けば一番有利でしょ」、「隅に陣取るのが有利」との手ほどきを受け、何と結果は私の勝ち。思いやり溢れる指導の賜物と感激したのです。また、ご家族の方からこんな発言を聞きました。「当初世間に對し自分は構えていた。自分や自分の家族の事しか考えられなかった。今では、周囲の隣人に小さい親切で日々接したいと考えるようになった」と。私も同じ立場の家族として、本当にそうだと共感することができました。

新しい今のたまり場は以前の場所と比べ、確かに狭いですが、それに負けないくらいに、冬でも珍しい花や観葉植物がアレンジされ、素敵な絵皿も飾られています。ほっとでき、文化の香りがほのかに漂うたまり場にぜひ立ち寄ってみて下さい。待っています！



## たまり場 インタビュー コーナー



「共に歩む市民の会」で今一番輝いているお二人と言えば「共に歩む市民の会」代表 田山裕文さんと副代表 深井浩治さんです。このお二人にこの会に対する熱い思いを語っていただきました。

Q 1. 「共に歩む市民の会」(以下 会)に関わるようになったきっかけは何ですか?

深井さん 「むくどりの家」に近い場所にあったこと。作業所が終わってからまっすぐ家に帰りたくなかった。自分の逃げ場所が出来たと思った事かな。

田山さん 「むくどりの家」が終わってからタバコを吸って時間を潰しているのを見て深井さんが誘ってくれたんです。来てみたら、とても居心地が良かった。

Q 2. たまり場の印象はどうでしたか?

田山さん 「広い家だな~。」というのが第一印象でした。夕食会はとても賑やかで、家族的。それに、何と言っても値段が安い!

Q 3. 幹事会にも参加するようになりましたね。

深井さん 「家に帰ってもつまらないでしょ。」て某幹事の人に言われて残っていたら、何時の間にか幹事会に参加していたんだよね。

田山さん それに、自分だけ帰りづらかった。気づいたら、何時の間にか役割分担が増えていたんです。

Q 4. 2001年にはそれぞれ代表・副代表となられました。

深井さん・田山さん 当番などで、時間が縛られて何も予定のない日は週に1日しかない状態なのが辛いです。それと、幹事として、活動できるメンバーが少ない事も。

Q 5. そんな大変な思いをしながらも続けられているのは何故でしょう?

田山さん 人との交流だと思う。

深井さん お互いに言いたい事が言い合える、対等な関係がなんと言っても良い所ですね。

Q 6. 一昨年現在の場所に移転しましたが、新しい「たまり場」の印象は如何ですか？

田山さん・深井さん 以前に比べると狭くて窮屈だけど、とても利便性が良くなつた。  
(駅にも役所にも近い。) そのお陰で、「ちょっと立ち寄ってみよう。」と思つて来てくれる人が増えてきた。

Q 7.これまでで、特に思いで深い事は何かありますか？

田山さん 「やどかりの里」の香野さんとの出会いです。生き方が前向きになりました。  
深井さん この会の優しい皆さんとの交流でしょうか？！(笑)

Q 8. 今後はどんな方に利用してもらいたいですか？

田山さん・深井さん 引きこもりの人や長期入院している人に気軽に利用してもらいたいです。それから、家族の方にも利用して欲しいですね。

田山さん・深井さんお忙しい中をわざわざ時間を作つていただき、本当にありがとうございました。「共に歩む市民の会」は旭区の生活拠点作りという新たな課題を見据え、皆さんの期待に応えられるように活動していく予定です。田山さん・深井さんにはいっそうの活躍を期待したいと思います。

一部インタビューの内容で誤解を招く文章がありましたが、私達「共に歩む市民の会」は脅し・すかしは勿論の事、言葉巧みに勧誘をし、何時の間にか仲間に引き込むような事は一切いたしませんので皆様安心して、たまり場に遊びに来てくださいね。



### 作業所移転のお知らせ

横浜マックティケアセンター 旭区本宿町91-6

TEL 366-2650 FAX 366-2651

ウイングス 旭区都岡町19-7 檜櫻館2階2号室

TEL FAX 953-3067

木楽舎(ゆいまーる) 旭区鶴ヶ峰2-9-9-301号

TEL FAX 952-3769



### 横浜市内3番目の援護寮が開所します！

ヴィラあさひの丘 旭区川井本町122-1

TEL 951-1061 FAX 951-1062

## ～ピアサポートについて～

共に歩む市民の会 ピアサポート事務局

「誰かが一緒に病院や作業所に行ってくれると良いな。」「誰かが一緒に行ってくれたら私も映画を観ることが出来るのにな。」「誰か私の話し相手になってくれるといいな。」「一人では行けないけど、誰かと一緒に買い物に行きたいな。」

当事者や家族の皆さんの中にはそんな要望を持っている人が多くいらっしゃいます。

ピアとはもともと仲間ということです。ですから、ピアサポートとは、仲間同士が支えあい助け合う活動を意味します。

いま、共に歩む市民の会では、家族を含めて、地域での生活の支えと生きがいの創造を目的として当事者同士の助け合い活動（ピアサポート）を支援しています。

支援の内容（メニュー）は、①病院や作業所、デイケアへの付き添い ②買い物、映画鑑賞、カラオケなどいっしょに行動する ③話し相手 ④その他、利用者の望むことです。

共に歩む市民の会のピアサポートは共助の理念をもとに当事者の利益を最大の目的としています。みなさん、どんどん利用して地域での生活の支えと生きがいの創造へつなげてください。みなさまのご利用とご支援をお待ちしております。

ご連絡・お申し込みは 045-953-6727 (たまり場)まで  
活動日 毎週水曜日 13:00~16:00

### 編集後記

◎花火が夜空をかざる頃に動き始めた広報11号チームでしたが、糺余曲折の果てに桜が咲きほころぶ季節になだれこんでしまいました。お待ちになっていた会員の方々には申し訳なく思っています。でもとてもいい雰囲気の中（多少スリリングでしたが）仕事ができました。（旭区の星 森）

○初めて担当させていただいた広報でしたが、周囲からのプレッシャーを受けながらも、のんびりとした雰囲気の中でお仕事ができて楽しかったです。来年度は予定通り花火の頃に発行できるか…あるいは予定を桜の頃に変更するか…。（川井の湯の華 高木）

☆大変長らくお待たせいたしました。やっとここまでたどり着くことができました。ひとえに私の怠慢がなせる業（？）であります。共に歩む市民の会も来年度は更にいろいろな動きが出てくる予定ですので、この広報を通して会の活動をお伝えできるように頑張ります。（花より団子 松迫）